



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月30日

上場会社名 ジーエフシー株式会社
コード番号 7559 URL <https://gfc-jp.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 公一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部部长兼財務経理部
管掌 (氏名) 丹羽 淳 TEL 058-387-8181

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,134	8.8	6		4		13	
2023年3月期第2四半期	8,394	44.8	208		190		157	

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 17百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 155百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	2.37	
2023年3月期第2四半期	28.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,272	16,294	76.5
2023年3月期	19,270	16,404	85.1

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 16,294百万円 2023年3月期 16,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		23.00	23.00
2024年3月期(予想)				23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,866	7.3	521	20.6	557	18.8	365	19.7	66.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	5,769,040 株	2023年3月期	5,769,040 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	240,234 株	2023年3月期	240,234 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	5,528,806 株	2023年3月期2Q	5,528,806 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行する中、個人消費の持ち直しや、訪日外国人観光客が増加する等の要因により、景気は緩やかに持ち直しております。ただし、各種原材料やエネルギー価格の高騰などにより、物価高の影響が本格化してきており、加えて、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクが懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループの主要顧客である観光産業や外食産業におきましては、消費者の行動変容とともに食に関わるビジネスのあり方やニーズが大きく変化してきております。また、需要が回復しつつある中、観光産業や外食産業を取り巻く経営環境は、物価高や人手不足の影響により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、世の中の変化を的確に捉え、顧客との繋がりを大切にするとともに、変化と要望を把握し、顧客に寄り添った提案やサービスの提供を行うことにより、『和食を中心とする業務用食材の企画・製造・販売』という当社のコア事業を強化し、当社ビジョン「おいしい出会いを創りたい」の実現と更なる企業価値向上を目指してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高91億34百万円（前年同四半期比8.8%増）、営業損失6百万円（前年同四半期は営業損失2億8百万円）、経常損失4百万円（前年同四半期は経常損失1億90百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失13百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億57百万円）となりました。

なお、当社グループは、業務用加工食材事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、212億72百万円（前連結会計年度末は192億70百万円）となり、20億1百万円増加いたしました。商品及び製品の増加（9億74百万円から22億41百万円、12億67百万円増）、受取手形及び売掛金の増加（24億32百万円から28億86百万円、4億54百万円増）並びに現金及び預金の増加（83億19百万円から86億72百万円、3億52百万円増）が主な要因であります。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、49億77百万円（前連結会計年度末は28億66百万円）となり、21億11百万円増加いたしました。支払手形及び買掛金の増加（16億15百万円から29億59百万円、13億43百万円増）、短期借入金の増加（3億円から6億80百万円、3億80百万円増）並びに長期借入金の増加（1億56百万円から2億21百万円、65百万円増）が主な要因であります。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、162億94百万円（前連結会計年度末は164億4百万円）となり、1億10百万円減少いたしました。剰余金の配当1億27百万円が主な要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間に比べ15億35百万円増加し、86億22百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、2億83百万円（前第2四半期連結累計期間は10億65百万円の支出）となりました。これは主に仕入債務の増加13億43百万円があったものの、棚卸資産の増加12億68百万円並びに売上債権の増加4億8百万円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、2億88百万円（前第2四半期連結累計期間は54百万円の支出）となりました。これは主に有価証券の取得による支出18億円があったものの、有価証券の償還による収入21億円により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、3億45百万円（前第2四半期連結累計期間は4億19百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出3億円があったものの、短期借入れによる収入6億80百万円により資金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,319,557	8,672,315
受取手形及び売掛金	2,432,762	2,886,832
有価証券	1,200,000	900,000
商品及び製品	974,428	2,241,986
原材料及び貯蔵品	68,117	69,227
その他	65,874	298,287
貸倒引当金	△4,460	△2,320
流動資産合計	13,056,280	15,066,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	472,277	447,583
機械装置及び運搬具（純額）	55,171	47,830
土地	3,706,311	3,706,311
建設仮勘定	2,160	—
その他（純額）	37,041	32,202
有形固定資産合計	4,272,962	4,233,928
無形固定資産	55,311	48,650
投資その他の資産		
投資有価証券	1,394,640	1,433,966
繰延税金資産	137,016	125,750
退職給付に係る資産	195,879	209,358
その他	162,902	158,578
貸倒引当金	△4,324	△4,324
投資その他の資産合計	1,886,114	1,923,329
固定資産合計	6,214,387	6,205,908
資産合計	19,270,668	21,272,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,615,159	2,959,114
短期借入金	300,000	680,000
1年内返済予定の長期借入金	44,000	72,008
未払法人税等	15,611	3,551
賞与引当金	129,292	177,467
役員賞与引当金	3,090	1,255
その他	260,576	512,997
流動負債合計	2,367,730	4,406,392
固定負債		
長期借入金	156,000	221,324
役員退職慰労引当金	101,442	106,557
退職給付に係る負債	172,535	175,131
その他	68,406	68,406
固定負債合計	498,383	571,418
負債合計	2,866,113	4,977,810
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,539,178	4,539,178
利益剰余金	12,109,679	11,969,371
自己株式	△351,467	△351,467
株主資本合計	16,397,389	16,257,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,602	33,831
為替換算調整勘定	1,562	3,512
その他の包括利益累計額合計	7,164	37,344
純資産合計	16,404,554	16,294,426
負債純資産合計	19,270,668	21,272,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,394,566	9,134,607
売上原価	6,896,105	7,393,578
売上総利益	1,498,460	1,741,028
販売費及び一般管理費	1,706,534	1,747,861
営業損失(△)	△208,073	△6,833
営業外収益		
受取利息	13,642	14,223
受取配当金	3,094	3,124
受取賃貸料	5,429	5,630
補助金収入	9,583	935
貸倒引当金戻入額	—	2,140
その他	2,780	2,796
営業外収益合計	34,530	28,850
営業外費用		
支払利息	3,846	2,187
賃貸収入原価	545	652
為替差損	12,488	24,084
営業外費用合計	16,879	26,925
経常損失(△)	△190,423	△4,907
特別利益		
固定資産売却益	199	—
特別利益合計	199	—
特別損失		
固定資産除却損	62,863	0
特別損失合計	62,863	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△253,086	△4,907
法人税、住民税及び事業税	8,116	8,068
法人税等調整額	△103,658	168
法人税等合計	△95,542	8,237
四半期純損失(△)	△157,543	△13,145
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157,543	△13,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△157,543	△13,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	28,229
為替換算調整勘定	2,214	1,950
その他の包括利益合計	2,435	30,179
四半期包括利益	△155,108	17,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△155,108	17,034
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△253,086	△4,907
減価償却費	56,476	53,867
為替差損益(△は益)	3,334	△687
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,913	48,175
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,370	△1,835
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,184	5,115
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,481	△2,140
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,976	2,595
受取利息及び受取配当金	△16,736	△17,348
補助金収入	△9,483	△935
支払利息	3,846	2,187
固定資産売却損益(△は益)	△199	—
固定資産除却損	62,863	0
売上債権の増減額(△は増加)	△439,887	△408,322
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,074,010	△1,268,668
仕入債務の増減額(△は減少)	593,498	1,343,954
その他の資産の増減額(△は増加)	△243,410	△252,185
その他の負債の増減額(△は減少)	219,628	214,072
小計	△1,071,265	△287,062
利息及び配当金の受取額	15,838	17,534
補助金の受取額	9,483	935
利息の支払額	△3,972	△2,231
法人税等の支払額	△15,354	△13,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,065,270	△283,862
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	50,000	50,000
有価証券の取得による支出	△1,800,000	△1,800,000
有価証券の償還による収入	2,200,000	2,100,000
有形固定資産の取得による支出	△5,329	△11,717
有形固定資産の売却による収入	200	81
無形固定資産の取得による支出	△3,942	△299
固定資産の除却による支出	△45,500	—
投資有価証券の取得による支出	△400,000	—
その他	428	331
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,143	288,395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,090,645	680,000
短期借入金の返済による支出	△522,717	△300,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△10,140	△106,668
配当金の支払額	△138,320	△127,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	419,467	345,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,706	2,286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△694,239	352,758
現金及び現金同等物の期首残高	7,781,529	8,269,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,087,289	8,622,315

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。